

公益社団法人全国産業資源循環連合会 第 64 回理事会議事録

令和 5 年 1 月 13 日（金）午後 4 時、明治記念館（東京都港区元赤坂 2-2-23）相生の間において、第 64 回理事会を開催した。

理事現在数 25 名、定足数 13 名

出席理事数 23 名

出席理事 永井 良一、鈴木 昇、杉田 昭義、橘 正則、片渕 昭人、大塚 雅司、
松本 英高、篠原 隆博、室石 泰弘、山岡 緑三郎、菊池 清二、
藤枝 慎治、木下 茂、田端 俊三、三谷 哲也、野原 雅浩、永田 雄一、
古矢 満、東浦 知哉、都築 建、伊丹 重貴、藏本 悟、海野 泰兵

出席監事 時田 茂、谷崎 晃、芝田 麻里

以上のとおり理事及び監事の出席があったので、定款第 43 条の規定により会長（代表理事）永井良一が議長に就任し、本理事会は適法に成立したので開会する旨を宣した。

1. 協議事項

① 令和 5 年度（2023 年度）事業計画事務局素案について

議長の指名により、室石専務理事が資料 1 の令和 5 年度（2023 年度）事業計画骨子案に基づき、同骨子案の全体構成を説明した。また、同骨子案の参考として、令和 4 年 11 月 30 日現在の正味財産増減計算書及び同年 12 月現在の紙マニフェスト譲渡数の推移を報告し、令和 4 年度の収支の見込としては「本年 1 月～3 月期がどのように推移するかによるが、例年の事業の執行状況を参考に予測すると、ほぼ収支均衡の状態に近くなるのではないかと思われる。」と述べた。

以上の議案の説明のあと田端理事より、「令和 5 年度の協会支援金の取扱い」、「紙マニフェストの譲渡価格の再値上げの有無」の 2 点についての質問が出された。

これらの質問のうち協会支援金の取扱いについては、永井会長が「皆さんの協力によって今年度は収支均衡までもっていけそうだが、まだまだ収支改善の見通

しは不透明であり、いまだ予断を許さない状況であることから、令和 5 年度についても協会支援金を実施しないことにしたいと考えているので、そのことをご理解いただくようお願いする。再来年度以降、連合会の収支が改善できた段階で、協会支援金の再開を検討したい。」と回答した。

また、紙マニフェストの譲渡価格の再値上げについては、室石専務理事が「値上げしたばかりであり、再値上げは考えていない。」と回答した。

当該事業計画骨子案は了承され、次回の 3 月理事会において骨子に基づく事業計画案を審議することとした。

② 令和 5 年度「第 19 回産業廃棄物と環境を考える全国大会」（令和 5 年秋）の開催について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 2 に基づき、令和 5 年度第 19 回全国大会について、共催団体（公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団）と協議した結果、新型コロナウイルス感染症が収束していないこと等を考慮し、従来のプログラムを見直して開催（開催時間の短縮）することを報告した。

また、全国大会の参加費は従来どおり無料（共催団体負担）とするが、全国大会閉会後の交流会の参加費については、全額参加者負担（従来は参加費の一部を連合会が負担）とすること、開催日時及び会場は「令和 5 年 11 月 10 日（金）午後 1 時 30 からグランドニッコー東京台場」とすること、を提案した。

以上の議案について議長が承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

③ 令和 4 年度産業廃棄物適正処理センター基金への出えんについて

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 3 に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物適正処理センター基金への出えんの承認を求めた。議長がその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

なお、出えん金額については 3 月の理事会で決定する。

以上の協議を終了した後、永井会長が各監事に意見を求めた。時田監事及び芝田監事からは特段の意見がなく、谷崎監事からは全国大会の運営について「各地域から集まる参加者の中には、大会当日に日帰りを希望する方もいらっしゃることも考えられるので、開催時間の工夫をお願いしたい。」との意見が出された。

3. 報告事項

① 令和 5 年度予算・税制・一般政策に関する要望について

議長の指名により、室石専務理事が資料 4 に基づき、昨年 11 月 2 日に開かれた

自民党の予算・税制等に関する政策懇談会に出席し、「令和5年度予算・税制・一般政策に関する要望」を行ったことを報告した。

② 産業廃棄物処理業における第3次労働災害防止計画案について

議長の指名により、戒能事業部・調査部特任主幹が資料5に基づき、令和5年度～9年度までを計画期間とする「産業廃棄物処理業における第3次労働災害防止計画」の概要を報告した。

③ 感染性産業廃棄物処理に係る要望について

議長の指名により、日浦事業部次長兼調査部次長が資料6に基づき、「感染性産業廃棄物処理に係る要望（新型コロナウイルス感染症等の感染拡大時における特例等措置等の要望）」を、昨年12月9日付けで環境省に提出したことを報告した。

④ 令和5年度（2023年度）全国産業資源循環連合会「産業廃棄物処理業者（最終処分場・中間処理施設・収集運搬）賠償責任保険」の募集について（ご案内）

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料7に基づき、賠償責任保険の募集に係るスケジュールを案内した。

⑤ 次回理事会その他の日程について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料8の年間行事予定表を報告した。

⑥ その他

山口事務局長兼総務部長が資料9から資料13の配付資料を紹介した。

4. その他

昨年12月27日付けで北海道・東北地域協議会から連合会に提出された「廃棄物処理法における欠格要件について（要望）」に関し、提出者である鈴木（昇）理事（北海道・東北地域協議会会長）が、別添の要望書及び要望理由の概要に基づき、同要望書の主旨及び経緯を説明した。

その後、藤枝理事（全産連政治連盟理事長）より、環境省との調整及び産業・資源循環議員連盟との連携等の重要性について意見が出されるなど、同要望書の取扱いを協議した結果、永井会長の書面を添えて同要望書を環境省に提出することとした。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後5時30分に閉会した。

以上の議事の内容を明確にするため、この議事録を作成し、出席した代表理事及び監事がこれに記名押印する。

令和5年1月13日

公益社団法人全国産業資源循環連合会理事会

代表理事 永井 良一



監 事 時田 茂



監 事 谷崎 晃



監 事 芝田 麻里

